

平成22年度昭和学院短期大学教員免許状更新講習について

昭和学院短期大学では、教育職員免許法に基づく教員免許状更新講習を以下のとおり実施します。本学のこの講習が教育の充実に役立つことを願っております。

- 1 開設期間 平成22年8月23日（月）、24日（火）、25日（水）
- 2 場 所 昭和学院短期大学および隣接の昭和学院伊藤記念ホール会議室
市川市東菅野2-17-1
最寄駅 JR本八幡駅、京成八幡駅 徒歩約18分（バスの便あり）
- 3 受講対象者 教諭の普通免許状又は特別免許状を有し、生年月日が昭和30年4月2日～昭和32年4月1日、昭和40年4月2日～昭和42年4月1日、昭和50年4月2日～昭和52年4月1日のいずれかで、以下に該当する者。
 - ① 現職教員（校長、副校長、教頭を含む。ただし、指導改善研修中の者を除く）
 - ② 実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員
 - ③ 教員採用内定者
 - ④ 教育委員会や学校法人などが作成した臨時的任用（または非常勤）教員リストに登録されている者
 - ⑤ 認定こども園又は幼稚園も設置している者が設置する保育所などで勤務している場合に限り、幼稚園教諭免許状を有している保育士など。詳細は文部科学省のホームページ（<http://www.mext.go.jp/>）を参照してください。
- 4 費 用 1講座（6時間） 5,000円 （ただし、昭和学院短大卒業者は3,000円）
- 5 申込方法 本学のホームページから、「教員免許状更新講習（仮）申込書」をダウンロードし、必要事項を記入して、本学に郵送する。宛名を書いて140円切手を貼付した返信用封筒（A4版が入る角形2号封筒）を同封する。
- 6 申込期間 平成22年5月1日（土）から平成22年6月30日（水）まで。
（定員に達した場合は、締切ります。）
- 7 申込から履修証明書発行までの流れ
 - ①受講申込（仮） 上記5、6による。
 - ②受講内定者決定 受講条件を満たしている者について先着順に決定。内定可否の通知文および内定者に教員免許状更新講習申込用紙、事前アンケート用紙等を送付する。
 - ③受講申込（正式） 受講内定者は、教員免許状更新講習申込書、事前アンケート、受講料振込確認書、写真2枚等を郵便にて提出。
 - ④受講許可通知 受講証、諸連絡文（時間割、要項等）を送付する。
 - ⑤講習（含試験） 8月23日（月）～8月25日（水）
 - ⑥「免許状更新講習履修証明書」の発行
認定後郵送する。（9月10日までに認定）

8 受講料の返金

7月10日（土）までに受講を取り消した場合は受講料の全額を、その後8月16日（月）までに受講を取り消した場合は受講料の半額を返金いたします。8月17日（火）以後の取消の場合は、受講料の返金できません。なお、返金は振り込み手数料を差し引いた額とします。

9 講習内容

本年度の講習は、1講座6時間で、選択領域について6講座開設します。講習内容は次のとおりです。

履修認定対象職種は「教諭」で、定員は各講座とも30名です。

	講習の名称 講習の区分 ：時間	講習の概要	担当講師	開設 月 日	主な受 講対象 者
①	「装いの科学」 選択： 6時間	衣服は人体との間に微小な環境を形成する。その衣服内の温熱的環境は、衣服の素材・着装状態や人体の生理現象、体温調節機能によって左右され、温熱感覚・快適感に影響を与える。前半ではその基本的原理を理解し、快適で着心地の良い衣環境のあり方を考える。後半では衣服素材としての繊維について、各種繊維の性質を確認するとともに、最新の機能性繊維、話題の繊維や環境に配慮した繊維など、安全で快適な暮らしを支える進化した繊維を簡単な実験を行いながらひも解く。	桑村典子 川田江美	22.8.23 (月)	中・高 家庭科 教諭
②	「健康な心と体を育てる食育」 選択： 6時間	「幼稚園教育要領」の「健康」領域にも食育の大切さが強調され、幼稚園でも菜園保育や栄養指導などの特別活動もたくさん見られるようになった。本講座では子ども達の「健康な心と体を育てるための食育」とはなにかを考える。また、実習は「小麦粉」を用いた子どもと共に作れる幅広い調理例を「おばあちゃんのこつの科学」の視点より考察し、必ず成功する調理と豊かな食体験、みんなで作って食べる楽しさを感じてもらうこととする。	黒川理加	22.8.23 (月)	幼稚園 教諭
③	「衣教材としてのものづくり・・・新・古の創造」 選択： 6時間	この講座の前半は、最新のツールであるコンピュータを活用したものづくりを行う。アパレル業界で使用されているCGソフトでテキスタイルデザインを行い、実際の布地へプリントする。後半部分では、古来から受け継がれる伝統技術の見直しとして、手縫いでの和装小物の作成を行う。両内容とも実際の家庭科教材への応用例の紹介をする。	板垣昌子 佐々木 由美子	22.8.24 (火)	中・高 家庭科 教諭

④	「足からの健康づくり」 選択： 6時間	現在子どもの身体のおかしさが言われている。その中でも足の異常・低体温・疲労の訴え等が多くなっている。このことは幼稚園での遊びを十分にすることにより生活リズムを形成でき改善できると言われている。足は日常生活での身体の動作の土台で、健康状態が現れる部分である。ここでは生活における健康状態がどのように足に現れるかを知り、実践を通して学習する事により、園での保育に役立つような「足からの健康づくり」を学ぶ。	浮田咲子	22.8.24 (火)	幼稚園 教諭
⑤	「現代の食生活を考える」 選択： 6時間	若い世代を中心に食への関心や知識が低下し、食習慣の乱れが指摘されている。また食料自給率の低下、食品の安全性への不安、生活習慣病の増加など食生活の課題は多い。一方で、スローフード、フードマイレージなど新しい動きも始まっている。このような最近の食をとりまく環境について講義する。調理実習では心豊かな生活を意識した食卓を調える。	前田文子	22.8.25 (水)	小・中 ・高 家庭科 担当 教諭
⑥	「こどもと文学」 選択： 6時間	中世・近世から語り伝えられる様々な物語（昔話）の解析を通して、文学作品が子どもたちに与える影響を考察する。また、昔話・伝説といった文芸上の概念や書き換えといった行為を理解し、言葉に対する感性を磨く。扱う作品は「桃太郎」「鉢かづき」など。	佐藤智広	22.8.25 (水)	幼稚園 教諭

【問合せ先】

昭和学院短期大学 教務課

〒272-0823 市川市東菅野2-17-1

電話 047-324-7115 FAX 047-322-6800